

組織的な大学院教育改革推進プログラム事後評価結果

機関名	東北大学	整理番号	C001
主たる研究科・専攻等名	医学系研究科医科学専攻		
教育プログラム名	多層的かつ双方向性の大学院医学教育実質化		
取組実施代表者	山本 雅之		

組織的な大学院教育改革推進プログラム委員会における評価

【総合評価】
<input type="checkbox"/> 目的は十分に達成された <input checked="" type="checkbox"/> 目的はほぼ達成された <input type="checkbox"/> 目的はある程度達成された <input type="checkbox"/> 目的はあまり達成されていない
<p>〔実施（達成）状況に関するコメント〕</p> <p>「多様な才能をもった有為な医学系人材の系統的な養成を行う」という教育プログラムの目的に沿って、複数教員指導制の導入、コースワーク授業、研究企画・展開力育成プログラムや国際化育成プログラムなどの計画が着実に実施され、大学院教育の改善・充実に貢献している。</p> <p>さらに、国際化をより意識した取組や ADL 教員の効率的な運用を通じて、今後の発展が期待される。</p> <p>特に、複数教員指導制などによる異分野横断型教育や若手研究者の大学院生の指導などによる双方向的かつ多層的な教育の展開により、大学院入学者数の増加、学会発表や質的かつ量的な論文数の増加がみられるなどの成果が得られているとともに、複数教員指導制による指導体制については、すでに他大学、他研究科に対して良い波及効果が認められ、今後についてもさらなる波及効果が期待される。</p> <p>情報提供については、拠点広報室からの発信としてホームページやリーフレットを用いて教育プログラムの内容や成果が公表されており、また高校への出前授業を通じて、積極的に情報公開が行われた。ただし、刊行物、シンポジウム、カンファレンスなどによる社会への情報提供については、より積極的な展開が望まれる。</p> <p>支援期間終了後の取組については、本プログラムはほぼ研究科として制度化されており、また教員の教育に対する意識向上のための FD 体制の充実が計画されるなど、十分に検討されている。ただし、経費面においては、他の教育プログラムや研究科長裁量経費などの一時的な経済的支援からではなく、恒常的な予算からの支援が望まれる。</p>
<p>（優れた点）</p> <p>複数教員指導制の導入、コースワーク授業や研究企画・展開力育成プログラムは、指導的フィジシャンサイエンティスト養成の優れた異分野横断型教育や双方向的かつ多層的な教育モデルとして、評価できる。</p> <p>（改善を要する点）</p> <p>国際性の涵養を図る国際化育成プログラムについては質的にも量的にも小規模であり、物足りない感があるため、国際化強化のさらなる具体化が望まれる。また、FD 体制の充実のための検討と実質化が望まれる。</p>